

まちのにぎわいづくりプラン  
神之池緑地整備基本計画

# 中間報告

案

令和3年10月

神栖市

## 目 次

01	はじめに .....	01
02	課題 .....	02
03	神之池緑地全体の整備コンセプト(案) .....	03
04	神之池緑地全体の整備方針(案) .....	04
05	体験拠点及び公園施設整備方針(案) .....	05
06	体験拠点及び公園施設整備計画図(案) .....	06
07	公園施設整備エリアの具体的な整備内容 .....	07

# 01 はじめに

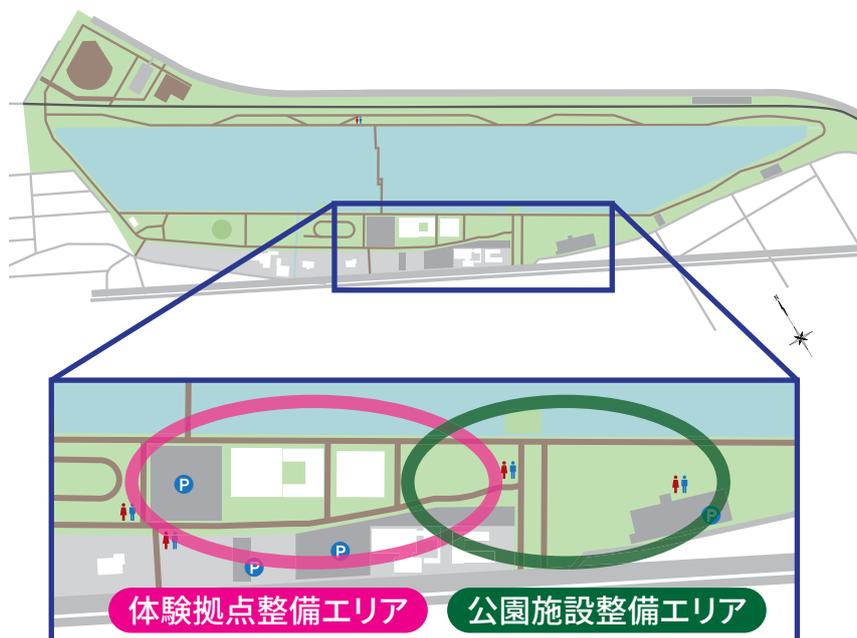
## 背景

平成27年に策定した「神栖市人口ビジョン」を基にした「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点プロジェクト②イメージアップ・定住促進プロジェクトの一環として、「まちのにぎわいづくりプラン」が令和3年3月に策定されました。「まちのにぎわいづくりプラン」は、定住人口・交流人口・関係人口を「にぎわいづくり人口」として捉え、「にぎわいづくり人口」の増加、「にぎわいづくり人口」同士の交流による関係性の深化により、定常的なにぎわいと経済性の両立を目指したものです。その中で、新しい人の流れの創出を図るため、息栖神社の魅力向上と神之池緑地の魅力開発に関する施策素案が示されました。

## 目的

「まちのにぎわいづくりプラン」では、神之池緑地の魅力開発に関する施策素案として、ランニングステーション等のスポーツ関連施設の整備を行う「体験拠点整備」と、遊具や休憩施設の整備を行う「公園施設整備」の2つのエリアに関する整備が示されました。

「神之池緑地整備基本計画」（以降、本計画）は、主にこの2つのエリアの整備について、整備方針や具体的な整備の内容を検討することにより、市民の憩いの場である神之池緑地の魅力を向上させ、市内外から多くの方々に訪れていただき、新しい人の流れの創出と「にぎわいづくり人口」の拡大による地域の活性化を図るものです。



## 02 課題

「まちのにぎわいづくりプラン」をはじめとする上位・関連計画、本市の社会的状況、スポーツに関するアンケート調査、神之池緑地の立地特性及び施設設置状況等から課題の抽出を行いました。課題は主に、市全体の魅力向上に関する「にぎわいの創出」、神之池緑地が既に有している魅力のさらなる向上に関する「既存資源・立地特性の活用」、植栽や池などの自然環境に関する「健全な自然環境」、新しい機能の導入や周辺施設との差別化に関する「機能の導入・更新」、既に設置されている公園施設やスポーツ施設の更新に関する「既存施設の更新」の5つの項目に整理することができます。

これらの課題をもとに、神之池緑地全体の整備コンセプト及び目指すべき将来像を導き出し、次のページに記載します。

### にぎわいの創出

- 神栖市のブランド力の向上に資する緑地の整備が必要
- 新たな人の流れを生む、市外の人々にとっても魅力的な緑地の整備が必要
- さらなる観光客の誘致に繋がる施設整備や既存の観光施設との連携が必要
- 市内外の人々が交流できる施設が必要
- 鹿島セントラルホテル、かみす防災アリーナや息栖神社との広域連携が必要

### 既存資源・立地特性の活用

- サクラや池等の既存の地域資源の活用が必要
- 池や緑、工場群への眺望を活かした整備が必要
- 工場夜景を活かした整備が必要
- 緑地全体の明確なゾーニングが必要

### 健全な自然環境

- 生育不良の樹木への対応(地域環境に適した樹木への更新)が必要
- 樹木が密集している場所は、間引き等の対応が必要
- 多くの緑がある一方でメリハリがないため、メリハリのある樹木配置の検討が必要
- 土が露出している部分への対応が必要
- 神之池の水質への配慮が必要

### 機能の導入・更新

- 利用頻度向上を図るため、来訪動機やきっかけとなるものの整備が必要
- 若い大人世代も魅力を感じる施設整備が必要
- 就業外におけるリラックスやレクリエーションの場が必要
- 周辺の公園と差別化した集客効果の高い遊具の設置が必要
- 幅広い年代が楽しめる遊具の設置が必要
- ランニングやウォーキング等の気軽に行えるスポーツの施設の整備が必要
- 市民の意見・要望の収集が必要
- カヌー競技の大会が開催できる施設整備が必要
- 軽スポーツ行えるような施設が必要

### 既存施設の更新

- 劣化した遊具の更新が必要
- 分散配置されている遊具の集約及び再編が必要
- ランニングコースの補修が必要
- LED化していない照明の更新が必要
- サインの仕様の統一が必要
- 緑地の整備にともなう、駐車場の増設が必要
- 艇庫の建替え、規模拡大が必要

### 財政負担の軽減

- 国等の補助事業の検討が必要
- 民間活力導入による財政負担の軽減が必要
- 耐久性、耐潮性の高い施設等の設置が必要

## 03 神之池緑地全体の整備コンセプト(案)

### カラダとココロ、そしてまちが元気になる にぎわいづくりの拠点

「観る」、「する」、「続ける」スポーツ環境と、水と緑の豊かな自然環境が  
利用者のカラダとココロを元気にし、新しい人の流れがまちを元気にする  
「にぎわいづくり人口」の増加に寄与する緑地

#### 目指すべき将来像

##### ① 既存資源を活かした神之池らしい魅力ある緑地

神之池らしさ

- ▶水・緑の豊かな自然環境や、工場景観等のここにしかない既存資源や立地特性を活用した魅力ある緑地
- ▶市名の由来となった緑地として、市の顔となる緑地

##### ② 市内外問わず多くの人に利用され、愛される拠点

拠点性・連携

- ▶ランニングステーションやカフェ等、魅力的な新しい機能が導入された緑地
- ▶本格的なカヌー大会から気軽な運動の場として、多くの人に幅広いスポーツの機会を提供する緑地
- ▶息栖神社や鹿島セントラルホテル、サイクルルートを結ぶ、広域周遊拠点

##### ③ 安心・安全に利用できる公園施設と健全で豊かな緑

適切な更新

- ▶遊具や舗装、照明などが適切に更新され、安心・安全に利用できる公園施設
- ▶樹木の植替え・間引きなどにより、健全な緑の生育環境

##### ④ 将来にわたり持続可能な緑地

持続性

- ▶国補助金の活用や民間活力導入による市の財政負担軽減
- ▶耐久性の高い施設整備によるメンテナンスコストの低減

## 04 神之池緑地全体の整備方針(案)

整備コンセプトと目指すべき将来像をもとに、神之池緑地全体に係る整備の方針を示します。

	整備方針
神之池らしさ	<ul style="list-style-type: none"><li>○水と緑の豊かな自然環境を活かした開放的で居心地の良い緑地環境の整備</li><li>○水辺環境を活かしたウォータースポーツ(カヌー)の拠点整備</li><li>○水面や風車、工場夜景など、特徴的な景観を楽しむことができる公園施設や体験拠点整備</li></ul>
拠点性・連携	<ul style="list-style-type: none"><li>○ランニング、ウォーキング環境の充実を図るランニングステーションの整備</li><li>○本格的なカヌー大会が開催できる拠点施設の整備</li><li>○サイクルルートとの連携を図るサイクリング拠点の整備</li><li>○相乗効果により集客を図るカフェの設置</li><li>○緑地全体の明確なゾーニング</li><li>○気軽なスポーツで交流できる施設の設置</li></ul>
適切な更新	<ul style="list-style-type: none"><li>○安心、安全に利用できる公園とするため、劣化した施設、設備の適切な更新</li><li>○近隣にはなく集客を図ることができる魅力的な遊具の更新</li><li>○生育不良の樹木の植替えや密な樹木の間引きなど、適切な植栽の更新</li><li>○舗装の更新によるランニング、ウォーキング環境の向上</li><li>○緑地内のサインの仕様統一</li><li>○各施設のバリアフリー化</li><li>○分散している遊具の再配置</li><li>○照明のLED化</li></ul>
持続性	<ul style="list-style-type: none"><li>○民間活力導入によるカフェの設置</li><li>○耐潮性、耐久性の高い材料を使った公園施設などへの更新による施設の長期利用</li></ul>

# 05 体験拠点及び公園施設 整備方針(案)

神之池緑地全体の整備方針から、体験拠点整備エリア及び公園施設整備エリア、それぞれのコンセプトと整備方針を示します。

## 整備コンセプト

### 体験拠点整備

自然豊かな立地環境を活かし  
幅広くスポーツの機会を  
提供する体験拠点

- ▶ランニングやカヌー等、神之池緑地で楽しめるスポーツをさらに充実する体験拠点の整備を行う
- ▶池や広場との接続性や、特徴的な眺望を楽しむことができる、体験拠点の整備を行う

### 公園施設整備

子どもから大人まで  
にぎわいがあふれ  
目的地となる公園緑地

- ▶大型遊具やカフェの設置により、周辺の公園にはない魅力がある、人々が集いたくなる公園施設の整備を行う
- ▶既存の広場や樹木、池への眺望を活かし、子どもから大人まで幅広い年代が楽しめる公園施設の整備を行う

	整備方針	
	体験拠点整備	公園施設整備
神之池らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング・ウォーキングコースの利便性を向上するランニングステーションの整備</li> <li>・水面や工場群への眺望を活かした体験拠点施設及び緑地の整備</li> <li>・カヌー競技の拠点へ寄与する艇庫の拡張</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神之池や緑地、工場群への眺望を考慮した遊具及びカフェの設置</li> <li>・サクラの更新による散策ルートの魅力向上</li> <li>・神之池らしい景観を彩る植栽の配置</li> <li>・眺望を確保するための樹木の間引きや剪定と、地盤高さの調整</li> </ul>
拠点性連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方が気軽に使える体育室の整備</li> <li>・ボルダリングなどの魅力的な新しい機能の整備</li> <li>・地域スポーツ活動の拠点整備</li> <li>・イベント時の連動を図る隣接緑地とのつながりを確保</li> <li>・周辺サイクルルートとの連携を図るサイクルステーションの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の公園にはない、集客効果の高い遊具の設置</li> <li>・神之池や緑地への眺望を活かしたカフェの設置</li> <li>・カフェ利用者と公園利用者が共存でき、くつろげる場の整備</li> <li>・利用増加に対応する駐車場の整備</li> </ul>
適切な更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の遊具や健康遊具の適切な更新</li> <li>・施設のバリアフリー化</li> <li>・密集している樹木の間引き、剪定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化した遊具の更新</li> <li>・密集している樹木の間引き、剪定</li> <li>・土が露出している広場の更新</li> </ul>
持続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験拠点施設の維持管理や運営における、民間事業者のノウハウの活用</li> <li>・耐潮性、耐久性の高い材料を使った施設への更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置管理制度の活用によるカフェの設置</li> <li>・耐潮性、耐久性の高い材料を使った施設への更新</li> </ul>

# 06 体験拠点及び公園施設整備計画図(案)



# 07 公園施設整備エリアの具体的な整備内容

公園施設整備エリアの具体的な整備内容を示します。

## 遊具の撤去更新

平成 28 年度に策定された『神栖市公園施設長寿命化計画』に基づき、10 年計画で更新や補修を行います。そのうち令和 4 年度は、帆船型複合遊具等を撤去し、代わりに、以前も設置してあり安定的な集客が見込める、大型ネット遊具への更新を行います。

また、若い大人世代の本市への転入が多いことから、子育て環境の充実を図り、本市への人口の定着を図ることを目的に、大型ネット遊具の設置と合わせて、乳幼児専用遊具エリアの設置を検討します。



大型ネット遊具イメージ



乳幼児専用遊具エリアイメージ

## 飲食施設(カフェ)の設置

「まちのにぎわいづくりプラン」によると、公園施設整備エリアに「機能としてあったらいいもの・欲しいもの」の回答は、「カフェなどの休憩飲食機能」が最も多く、80%となっています。

都市公園法の改正等に伴い、全国的に公園内への魅力的な休憩飲食施設の設置が増加しており、休憩飲食施設は、公園の集客効果に大きく寄与すると考えられます。

休憩飲食施設の中でもカフェは気軽に利用でき、中高生など比較的若い世代から高齢の方まで幅広い年代の利用が見込まれます。またカフェは、テイクアウトできるメニューが多く、公園内のベンチや芝生広場など、利用者が思い思いの場所でつるぐことが可能となるほか、ドライブスルー機能の導入により、国道 124 号の道路利用者の誘客も見込まれます。このため、休憩飲食機能としてカフェの導入を計画します。



カフェイメージ

## 休養施設(あずまや)の設置

前ページで導入を計画した遊具とカフェは、利用者の属性が異なるため、相乗効果を十分に得られにくいことが懸念されます。そこで、双方の利用者が利用できる共用の休養施設を設置することにより、さらに魅力的な公園となり、相乗効果による集客を図ることができると考えます。

利用イメージとして、例えば遊具利用者である家族連れの親はカフェでテイクアウトし、子どもは自宅から持参したものを食べることができる場所や、カフェ利用者である若いグループがテイクアウトにより屋外で自然を感じながら飲食ができる場所のような共用の施設が有効であると考えます。

また、利用イメージから、遊具とカフェの中間に配置し、日差しを防ぐ屋根やルーバー、高木があることが望ましいです。このような考え方のもと、休養施設としてあずまややパーゴラ、ウッドデッキ等の導入を計画します。



あずまやイメージ



ウッドデッキイメージ

## 駐車場の拡張

大型遊具の設置やカフェの設置に伴い、公園利用者数は増加すると考えられます。そのため、公園駐車場の拡張を計画します。グラウンドゴルフ等での既存駐車場利用者への影響も考慮し、西側へ拡張するように計画します。また、カフェ利用者用の駐車場も必要となるため、公園駐車場と一体的に整備することにより効率的な計画とします。

駐車場内の車両動線は、車両の混雑を避けるため一方通行とします。また、駐車場内の混雑を避けるため、専用出口を既存出入口西側に増設します。専用出口は右折禁止とし、事故防止に配慮します。



駐車場拡張予定地の場所

## 植栽の更新

園路沿いのサクラ類は一部生育が良くないため、耐潮性のあるサクラ類に植え替えを計画します。  
また、遊具や飲食施設からの池への視線の抜けを意識した間引きと剪定を行い、神之池を感じられるようにします。

そのほか、新しく植える植栽は耐潮性がある樹種から選定することとします。



生育が良くないサクラ



遊具周辺から池方向の眺め

### 高木

**常緑** マテバシイ、タブノキ、ヤマモモ、スダジイ、クロガネモチ、ユズリハ、シマトネリコ、ホルトノキ、クロマツ、サングジュ、ブラシノキ、オリーブ、イジュ、ナナミノキなど

**落葉** エノキ、アキニレ、クヌギ、ネムノキ、オオシマザクラ、カワヅザクラ、サトザクラ(関山)、シマサルスベリ、ジュンベリーなど

### 中木

**常緑** ウバメガシ、ヤブツバキ、キョウチクトウ、マサキ、ヒイラギモクセイ、サザンカ、カクレミノ、トキワマンサクなど

### 低木

**常緑** アベリア、プリペット、ヒラドツツジ、サツキ、ボックスウッド、ヒペリカム・ヒデコート、シャリンバイ、ハマヒサカキ、アオキ、アセビ、マホニアなど

**落葉** ユキヤナギ、アジサイ、カシワバアジサイ、ニシキギ、シモツケなど

### 地被

**常緑** ツツブキ、バーハーバー、ブルーパシフィック、アガパンサス、フィリフェラオーレア、セイヨウイワナンテン、ヘデラ類など

### 耐潮性のある代表的な樹種



神栖市  
企画部 政策企画課